

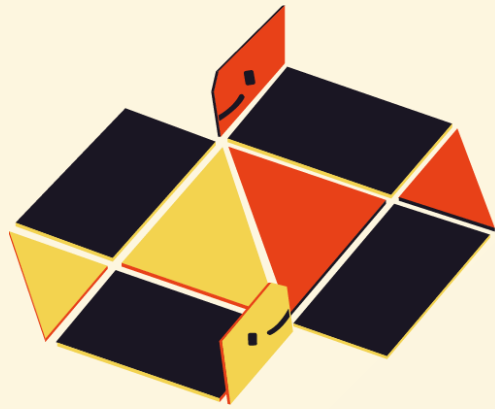
オンラインコミュニケーションの課題と、その乗り越え方

中村 優 / @chanyou0311

中村 優



- ちゃんゆー / @chanyou0311
- 広島出身広島在住のエンジニア、高専出身
- お仕事はデータ分析基盤の構築、運用
- 趣味はクルマと工作



PYCON
JP 2022

PyCon JP 2022 を10月に開催します

PyCon JP 2022

- 日程: 10/14(金) から 10/16(日) まで
- 会場: TOC有明コンベンションホール
- ウェブサイト: <https://2022.pycon.jp>
- connpass よりお申込みください！

オンラインコミュニケーションの課題と、その乗り越え方

今日お話すること

- オンラインコミュニケーションの課題とは？
- オンラインコミュニケーションの課題の乗り越え方

注意

- 学術的な裏付けや根拠はなく、自身の経験と推測に基づいた解釈をお話します。
- 「そういう見方もあるかも」くらいで、さらっと聞いてもらえると嬉しいです。

今日お話ししないこと

- リモートワークのメリット
- リモートワークのコツ

あえて今日は触れません！

オンラインコミュニケーションの課題とは？

あらゆる状況において、情報の偏りを生んでしまう

あらゆる状況において、**情報の偏り**を生んでしまう

- 個人
- チーム
- 組織全体

日々インプットする情報に偏りが出てしまう

- 読んだ書籍、チェックしているニュースサイト等が偏ってしまう
- chanyou は普段 Python を書いているので関心がそちらに寄りがち
 - 一方で Ruby の動向は何もわからない
- 重要な情報を見逃しているかも...

社員の過去の経緯を把握するハードルが高い

- 組織に長くいればいるほど、誰と誰が一緒に仕事していたか把握できる
- 新しくリモートの組織に入ると、今の状況はわかってても過去のことを把握するのは困難
 - 今のプロダクトオーナーが、実は以前テックリードとして働いていてバリバリコード書けたとか
- リモートだとなぜか過去の話題になりにくい

チームの仕事が属人化してしまう

- 「この仕事はあの人が前やったから、今回もお願いしよう」
- ドキュメント化されない秘伝の知見がその人に閉じてしまう
- オフィスだと教えてもらおうきっかけを作りやすいのに...

チームの動きが局所最適化されてしまう

- コミュニケーションがチーム内に閉じてしまうと、社内であっても他のチームがどんなことをやっているかわからない
- 似たような調査や課題解決を、別のチームがそれぞれやってしまうことも
 - 同じ轍を踏む...

あらゆる状況において、**情報の偏り**を生んでしまう

- 個人
 - 日々インプットする情報に偏りが生じてしまう
 - 社内の人間関係の経緯を把握するハードルが高い
- チーム
 - チームの仕事が属人化してしまう
- 組織全体
 - チームの動きが局所最適化されてしまう

情報の偏りの性質と原因

情報の偏り自体はリモートワークに関係なく生じてしまうもの

リモートワークだと顕著に出やすい印象

情報の偏りの原因はなんだろう...？

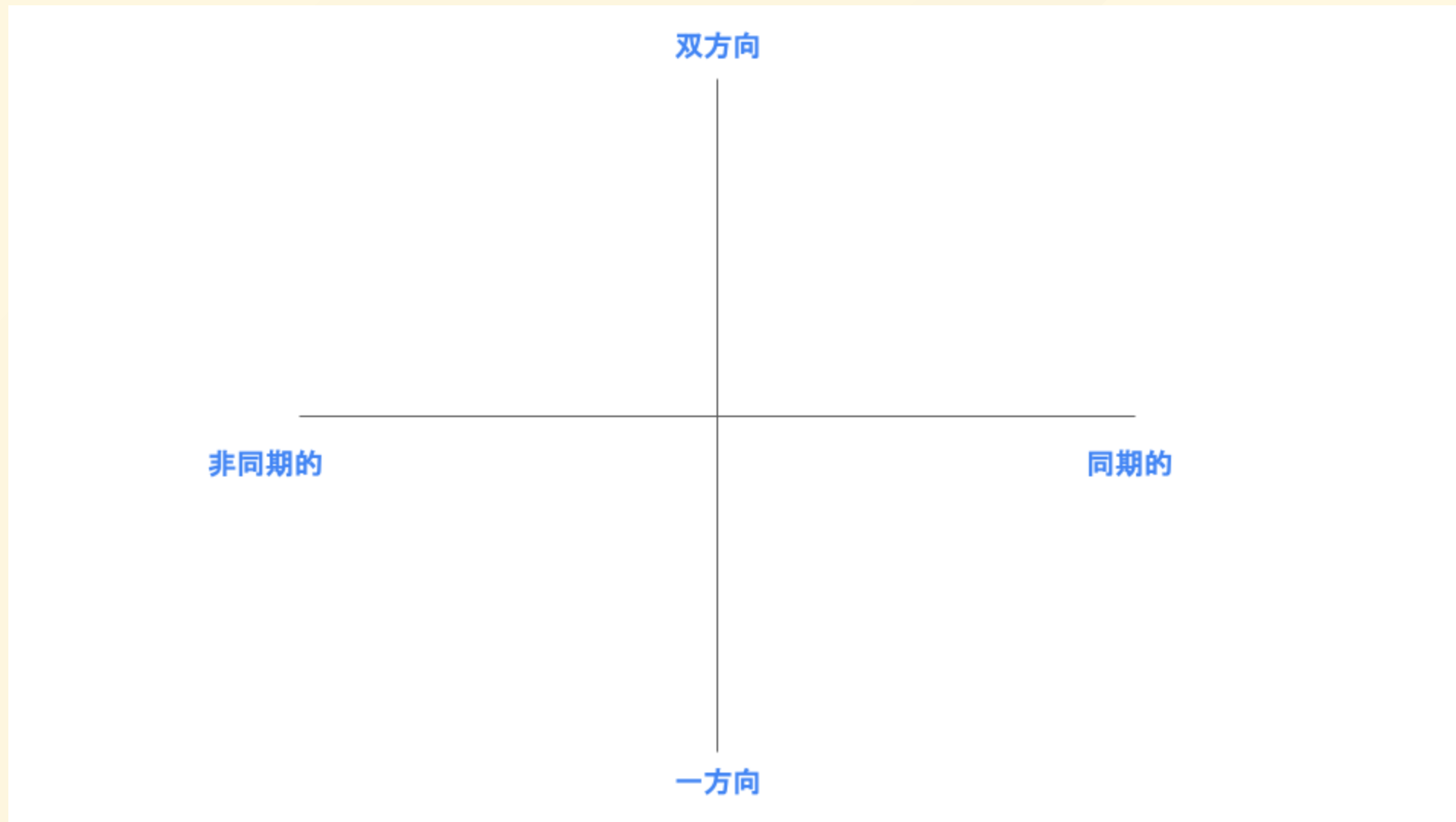
情報の偏りの原因

同期的な双方向コミュニケーションの場の不足

と説明できそう

コミュニケーションを分類して考えてみる

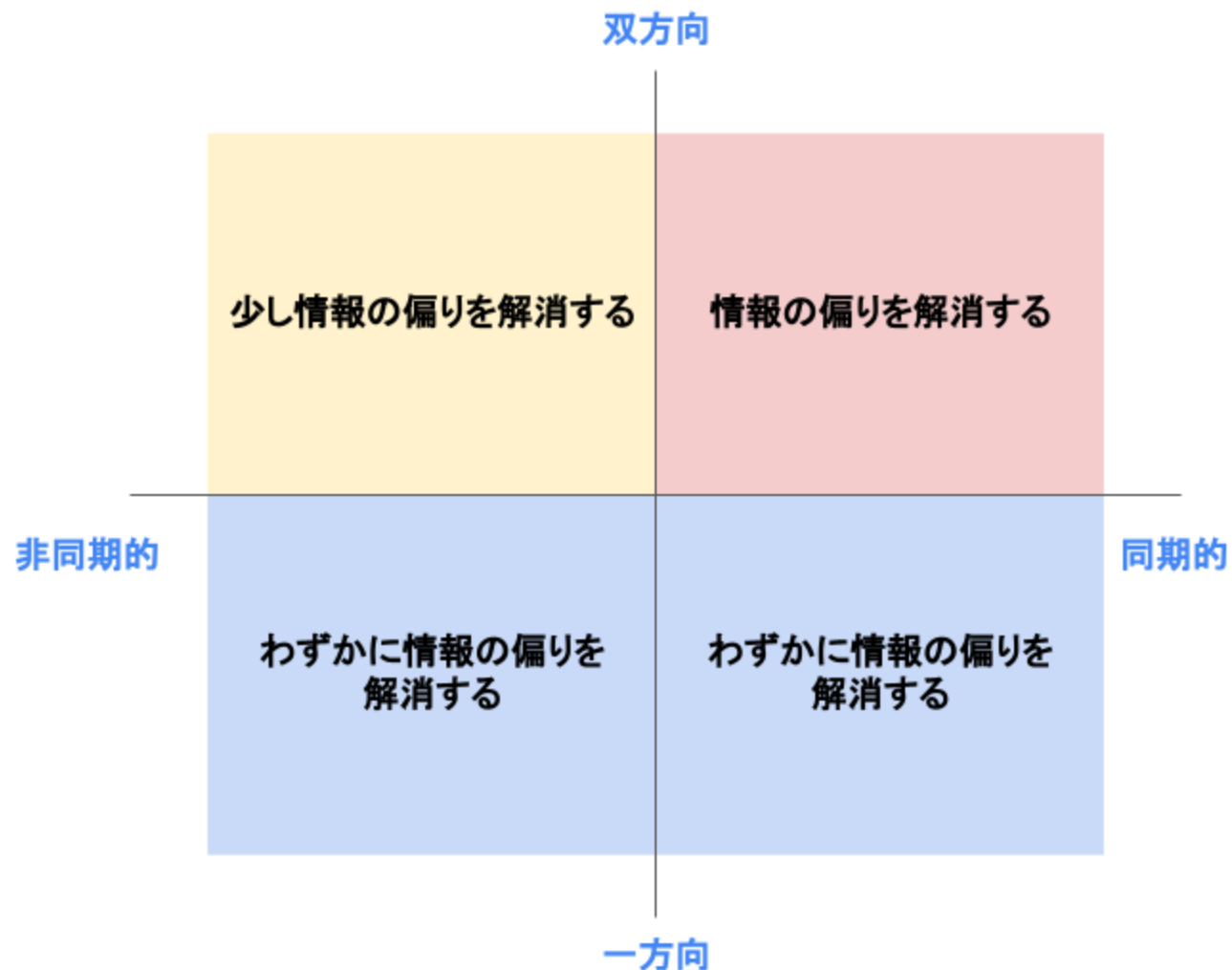
同期的かどうか、双方向か一方向かで分類できそう



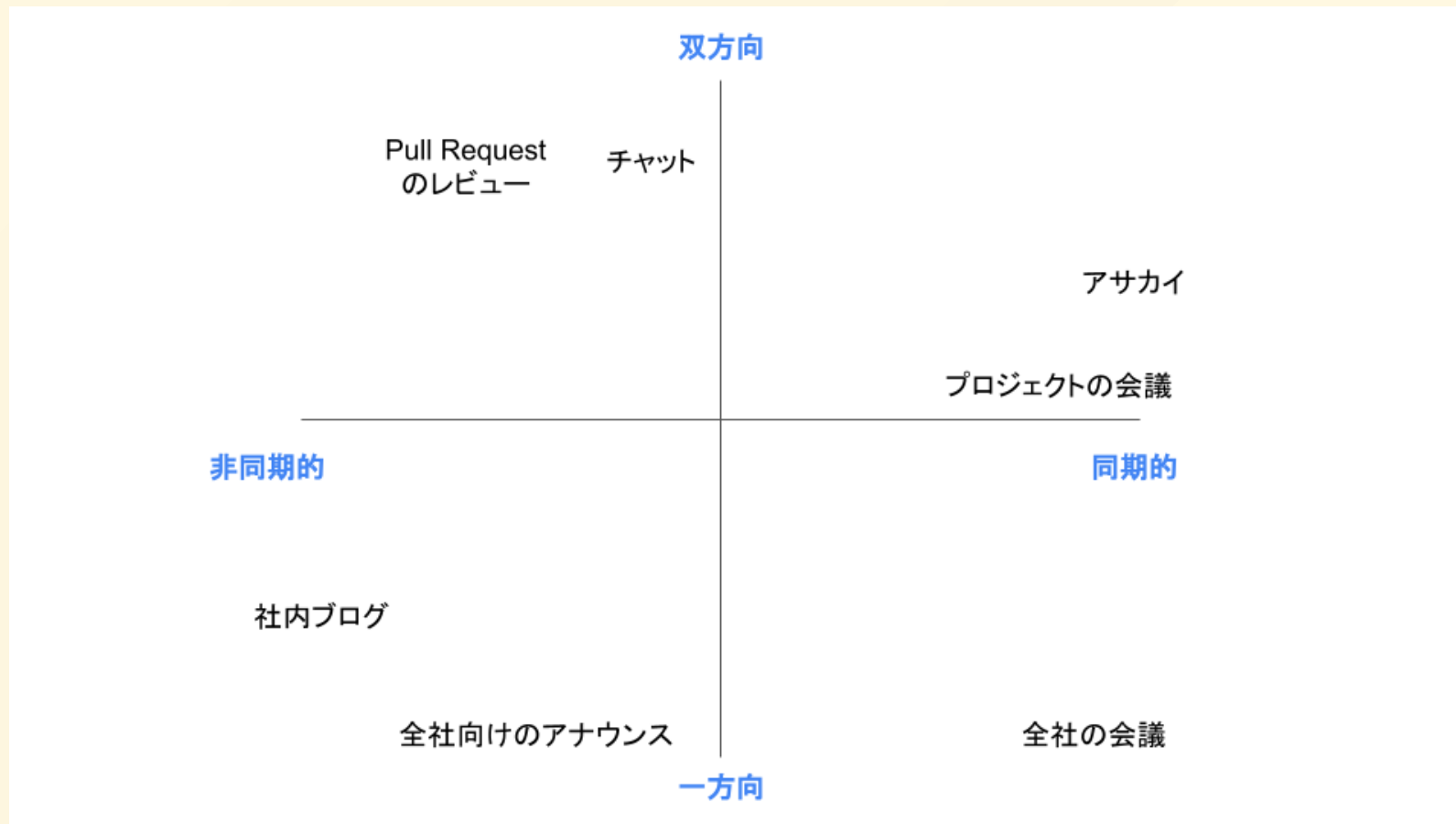
オフラインでのコミュニケーションを考えてみる



こういった傾向にありそう

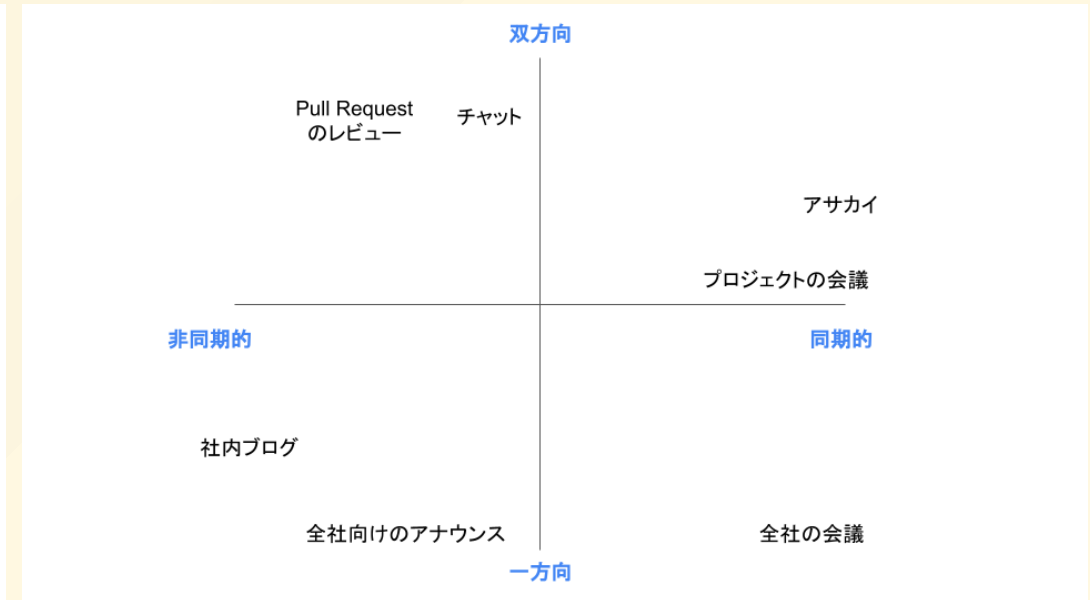


オンラインでのコミュニケーションを考えてみる



同期的で双方向のコミュニケーションが少ない...

オフライン / オンライン



- 対面だと同期的で双方向コミュニケーション中心となる
- リモートワークだと同期と非同期の両方でコミュニケーションを取る必要がある

コミュニケーションと情報の偏りの関係性

- 同期的な双方向コミュニケーションの時に、情報の偏りを是正する情報共有が行われやすい
- 逆に、情報の偏りは**同期的な双方向コミュニケーションが不足したとき**に生じるのではないか？
 - いわゆる雑談不足

情報の偏りの原因

同期的な双方向コミュニケーションの場の不足

と説明できそう

オンラインコミュニケーションの課題の乗り越え方

**同期的な双方向コミュニケーションを充実させると、
情報の偏りを解消できそう**

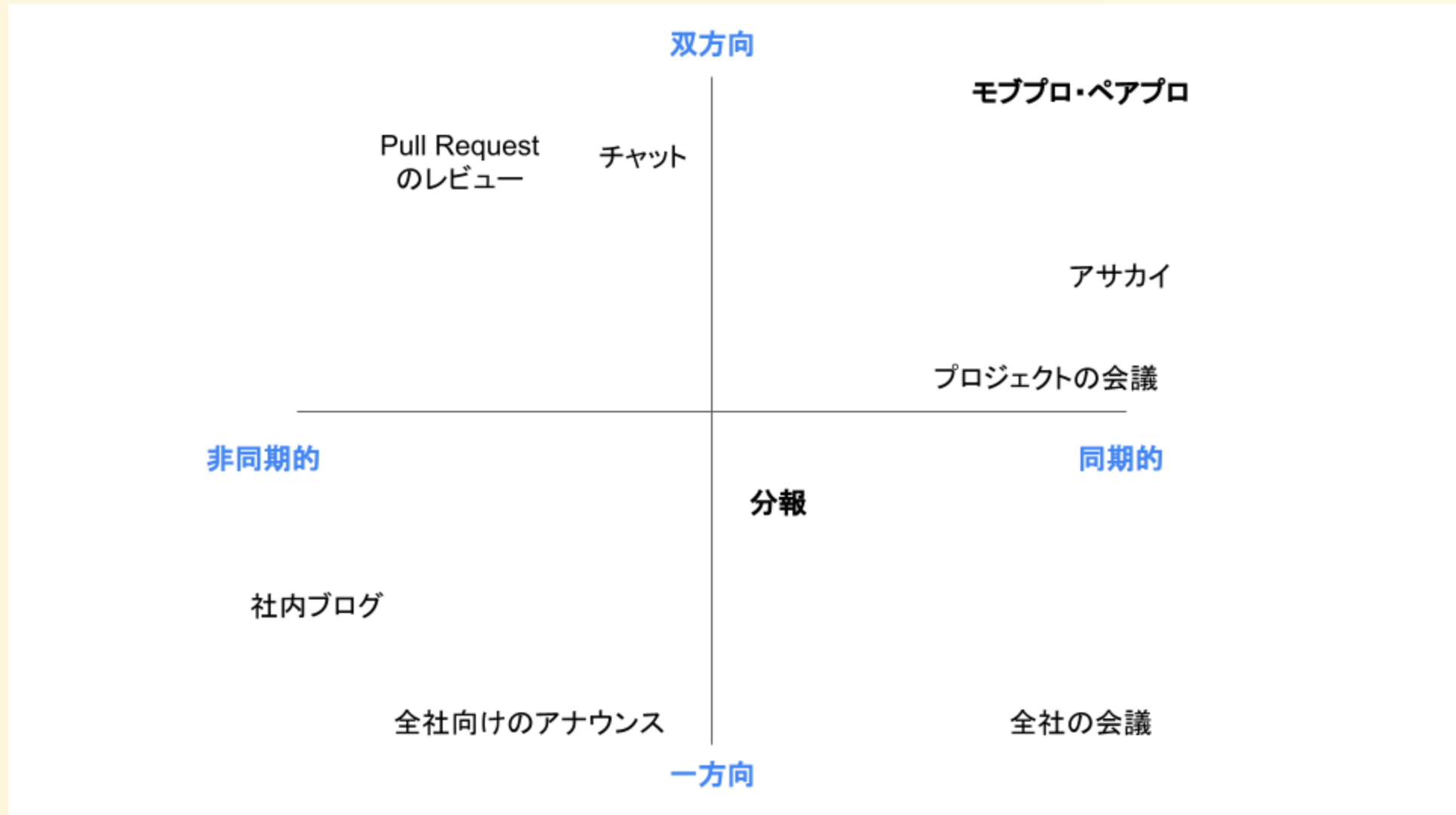
同期的な双方向コミュニケーションを充実させる方法

1. 同期的な双方向コミュニケーションの場を習慣的に設ける
2. 既存のコミュニケーションに双方向の要素を加える
3. 定期的にオフラインで顔を合わせる機会を設ける

1. 同期的な双方向コミュニケーションの場を習慣的に設ける

- モブプロ・ペアプロを実施する
- アサカイを実施する

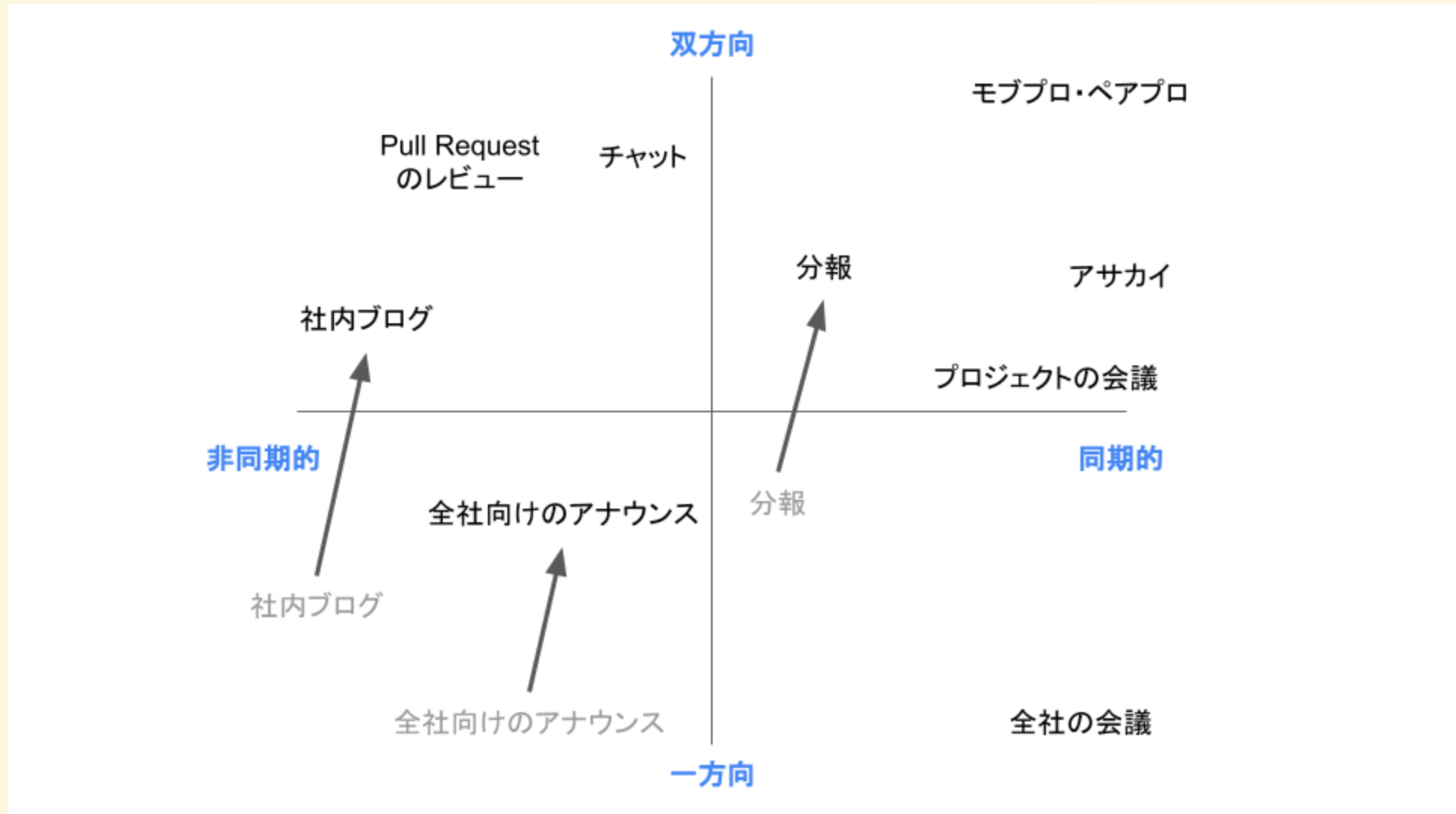
1. 同期的な双方向コミュニケーションの場を習慣的に設ける



2. 既存のコミュニケーションに双方向の要素を加える

- アサカイで1人1ネタ、気になったニュースと見解を共有する
- 他人の書いた社内ブログにコメントを書く
- チャットで積極的にリアクションを付ける
- 分報で軽く議論をする

2. 既存のコミュニケーションに双方向の要素を加える



3. 定期的にオフラインで顔を合わせる機会を設ける

- 開発合宿を実施する
- 飲み会や社内交流会を開催する

リモートワークでまかなえないコミュニケーションは、対面で補う

同期的な双方向コミュニケーションを充実させる方法

1. 同期的な双方向コミュニケーションの場を習慣的に設ける
2. 既存のコミュニケーションに双方向の要素を加える
3. 定期的にオフラインで顔を合わせる機会を設ける

まとめ

まとめ

- オンラインコミュニケーションの課題とは？
 - あらゆる状況において、**情報の偏り**を生んでしまう
- オンラインコミュニケーションの課題の乗り越え方
 - 同期的な双方向コミュニケーションを充実させる

**日々のコミュニケーションを整理してみると、
不足しがちなコミュニケーションに気づけるかも？**

ぜひやってみてください！